

自然博ネットの調査活動
—静岡県の特特定外来生物（哺乳類）調査—
三宅 隆



アライグマ親子4頭



カメラトラップをセットする



カメラに写ったアライグマ



エッグトラップで捕獲したアライグマ

静岡県内では、これまで特定外来生物の哺乳類は、アライグマ、ハリネズミ、クリハラリスの3種類がいましたが、近年、浜名湖周辺で、ヌートリアが確認されるようになりました。

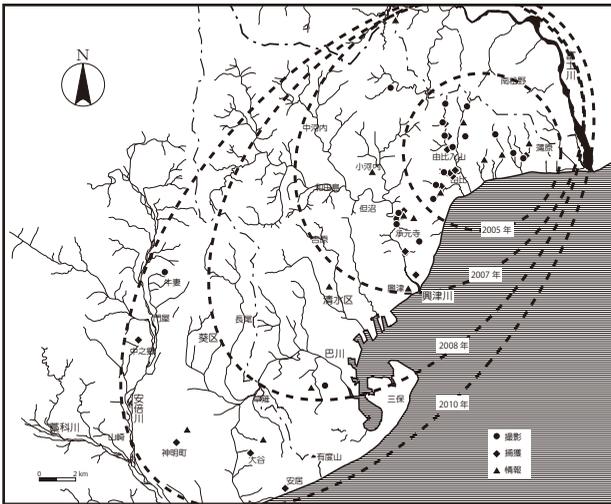
平成19年度、静岡県自然保護課では、特定外来生物の状況を把握するために、その調査を自然博ネットに委託しました。

この調査のアライグマに関しては、今迄、目撃などの情報のあった場所で、特に清水地域とその周辺の市町を中心に、農家の方への聞き込みや農協、猟友会などへのアンケート調査、それに自動撮影カメラ調査を実施しました。カメラ調査では、静岡市清水区、旧由比町、富士市旧富士川町、富士宮市旧芝川町で29カ

所に設置しました。その結果、清水区由比と興津周辺の11カ所でアライグマが写っていました。その中には、聞き込みで、農家の人が見たこともないと言っていたすぐそばで写っていることもありました。その後、カメラに写った場所で、エッグトラップというアライグマ専用の罠を使用して捕獲を試み、7カ所で7頭を捕獲しました。

カメラ調査では、アライグマ以外にも、いろいろな種類が写るため、ほかの哺乳類の生息状況も把握できました。

伊東市周辺でのハリネズミ生息調査も実施しました。かご罠を設置したり、真夜中にライトを使って、公園やゴルフ場を歩いて探し回り、見つけては捕獲するという方法で、調



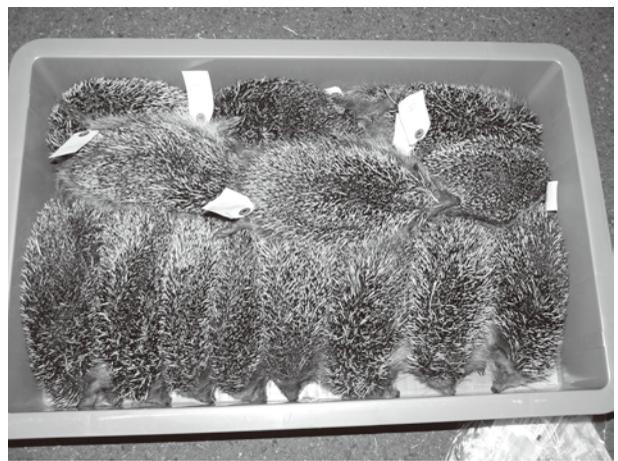
アライグマ分布拡大



ハリネズミの夜間ライト調査



夜間ライトで見つけたハリネズミ



一晩で19頭捕獲したことも

査期間中の7月から11月の間に84頭捕獲しました。あるゴルフ場では、一晩で19頭も手取り捕獲でき、この地域では相当数が生息し、分布がどんどん広がっていることが示唆されました。

平成20年度には県自然保護課では、昨年度の結果をもとに全県下でのアライグマの野生化を確認するため、カメラ調査を環境調査会社に委託し、専門家として私が指導することになりました。この時は伊豆半島から、東部富士地域、県西部の浜松市水窪、龍山、三ヶ日町にかけての12カ所にカメラを設置して生息確認をしました。その結果、カメラによる確認は富士地域で芝川町、西部地域で三ヶ日町でしたが、県内にどんどん分布が広がっているようでした。

平成21年度には、静岡市からアライグマ生息実態調査業務を受託して、静岡市域内のカメラ調査と捕獲調査を実施しました。カメラ

調査では、清水区だけでなく駿河区や葵区へも広げ、80カ所実施しました。その結果、情報では葵区でもありましたが、カメラでは清水区だけの確認となりました。

平成23年度には、県がアライグマ捕獲調査を実施。この時は清水区だけで51頭が捕獲されました。

そして27年度の現在、再度静岡市よりカメラによる生息調査の委託を受け実施中です。

現在迄、5回に渡ってNPOとして、また個人として、静岡県のアライグマ生息調査に携わってきましたが、アライグマはその生息域を、どんどん広げているようです。在来の動物との競合はもちろん、農産物の被害や、人家への侵入被害など、多くの問題点を抱えています。どうしたらその被害を防げるのか、NPOとしてもその対策と対応を、行政と共に考えていきたいと思っています。